

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	ファイナンシャル・プランナー入門Ⅰ				授業形態	講義			
科目コード	531251	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	
担当教員名	土田 博							ICT活用	○
授業概要	<p>会計・金融および税務的知識は今やビジネスに携わる人にとって必然の素養と言えましょう。会計、税務、保険等の利用について学び、現代社会を読み解く知識を深め、職業人としての専門知識を身につけるようにします。また、近年特に企業に注目され、就職にも大いに役立つと言われるファイナンシャル・プランナー試験（国家資格）を目指した内容も講義して行きます。日常生活で必要となる会計や金融に関する知識を身につけたいと思う人や将来、金融（銀行、保険、証券、JA等の団体）や事務系・不動産関係への就職を希望する学生には履修していただきたい授業です。授業は講義を中心として、演習を交えながら進めて行きます。</p>								
関連する科目	「経営と会計」「簿記原理」「コンピュータ会計」								
授業の進め方と方法	<p>授業は講義を中心として、演習を交えながら進めて行きます。 アクティブラーニングについて：テキストをしっかりと理解することに時間を使用するため皆でのディベート等は行われません。 ICTの活用：必要に応じて、インターネットを利用したビデオを用いる場合もあります。</p>								
授業計画【第1回】	<p>授業の概要： 会計、税務、金融などについて概要を説明 FPとFP技能士試験についての説明</p>								
授業計画【第2回】	<p>ライフプランニングと資金計画①： 人生の三大資金である住宅、教育、老後について住宅ローン、教育資金、年金について学ぶ。</p>								
授業計画【第3回】	<p>ライフプランニングと資金計画②： 社会保険（健康保険、雇用保険、労災保険、介護保険、公的年金）のしくみについて学ぶ。</p>								
授業計画【第4回】	<p>リスク管理①： 生命保険の考え方、生命保険商品の種類と内容、生命保険の契約手続き等について学ぶ。</p>								
授業計画【第5回】	<p>リスク管理②： 損害保険の考え方、自動車保険・傷害保険、火災保険と地震保険、第3分野の保険について学ぶ。</p>								
授業計画【第6回】	<p>金融資産運用①： 金融商品の基礎知識、預金等の金融商品、債券投資、株式投資、投資信託、ポートフォリオ運用について学ぶ。</p>								
授業計画【第7回】	<p>金融資産運用②： 金融商品の税金と顧客保護について学ぶ。</p>								
授業計画【第8回】	<p>タックスプランニング①： 個人の様々な所得（給与所得と退職所得、事業所得、不動産所得、利子所得と配当所得、譲渡所得、一時所得・雑所得）について学ぶ。</p>								
授業計画【第9回】	<p>タックスプランニング②： 所得税における所得控除、税額控除、損益通算について学ぶ。</p>								
授業計画【第10回】	<p>不動産①： 不動産の調査と取引（不動産の価格、不動産の取引）および不動産に関する法律について学ぶ。</p>								
授業計画【第11回】	<p>不動産②： 不動産の活用と税金（取得時の税金、保有時の税金、譲渡時の税金）について学ぶ。</p>								
授業計画【第12回】	<p>相続・事業承継①： 贈与の基本（贈与の意義、課税財産と非課税財産、贈与税の計算）について学ぶ。</p>								
授業計画【第13回】	<p>相続・事業承継②： 相続の基本、相続の手続き、相続財産の評価について学ぶ。</p>								
授業計画【第14回】	<p>F・P試験の概要： FP試験の科目、傾向、申込方法等について学ぶ。</p>								

授業計画 【第15回】	全体のまとめ
授業の到達目標	わが国の社会制度を理解する。【知識・理解】 資格を取得し、職業生活や社会生活に活かす。【汎用的技能】 さらに、会計・金融的感覚を身につけ、ビジネスの現場において必要とされる人材とはどのような人材なのかを理解する。【態度・志向性】
学修成果との関連	3. 現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	社会・特に企業が発信する様々な情報に関心を有し、インターネット、新聞、情報誌等で授業に関連する情報を入手する。 テキストには必ず目を通すこと。 上記の点を考慮すると1時間程度の予習が必要である。
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。 授業の復習をしっかり行い、授業で理解できなかった点は後日質問すること。 上記の点を考慮すると1時間程度の復習が必要である。
課題に対する フィードバック	課題や演習については必ず解説を行う。
評価方法・基準	定期試験成績80%、課題提出20%
テキスト	白鳥光義著「2023—2024年版 スッキリわかる FP技能士3級」TAC出版、2023年、定価1,540円(本体価格+税)
参考書	なし
備考	特になし